



必要を感じていない  
準備中

4 照明器具をLEDシーリングライトなどの非ガラス化にしていますか

ガラス製の照明器具・吊り下げ電球はない	11	55.0%
ガラス製の蛍光灯や吊り下げ電球にカバーをしている	2	10.0%
まだ非ガラス化していない	7	35.0%

所見：LED化にすることで防災力が上がるのでぜひ推進したい対策です

当然、LED化は製品寿命が長くなり、電気料金も安くなるなどのメリットがあります

5 カセットコンロが家にありますか

ある（1年に1回以上使用している）	20	100.0%
ある（1年に1回以上使用していない）	0	0.0%
ない	0	0.0%

所見：一般に1割～2割の家庭が所有していないことを認識してしてください

カセットボンベの本数についての質問をしましたが、1日3食使用するとして7日では6本以上必要となります（岩谷のカセットボンベが6月から値上げされます）

6 普段、食事をつくっている人がケガ等で作れなくなった時に他の家族が作れますか

家族全員ができる	14	70.0%
家族の誰かができる	5	25.0%
食事をつくるのが難しい	1	5.0%

所見：在宅避難時に誰が食事を作るかということは在宅避難時の盲点です。特に普段料理をしない男性は注意してください。ポリ袋調理など簡単な調理法を使って家族全員ができることを目指してください

7 電気・ガス・水道が止まった時、家族全員が自宅で何日避難生活できる備えをしていますか

1日	0	0.0%
2～3日	6	30.0%
4～6日	1	5.0%
7～9日	4	20.0%
10日以上	9	45.0%

所見：どこの行政も支援物資が届くまでの期間として、1週間の備蓄を求めています

8 食料は何日分備えていますか

1日	0	0.0%
2～3日	4	20.0%
4～6日	1	5.0%
7～9日	4	20.0%

10日以上	10	50.0%
未回答	1	5.0%

所見：どこの行政も支援物資が届くまでの期間として、1週間の備蓄を求めています

9 一人一日3リットル必要な飲料水を家族何日分備えていますか

1日	0	0.0%
2～3日	5	25.0%
4～6日	3	15.0%
7～9日	5	25.0%
10日以上	7	35.0%

所見：どこの行政も支援物資が届くまでの期間として、1週間の備蓄を求めています

10 飲料水をどのような方法で備えていますか（複数回答）

ペットボトル	19	63.3%
ウォーターサーバー	2	6.7%
水道水を保存	5	16.7%
風呂の残り湯等の生活用水を浄水	2	6.7%
その他（保存水道水缶）	2	6.7%

所見：一人一日3ℓ×7日×家族人数が必要なので、この量以上を上記のような色々な方法で確保することが必要になります

11 災害発生時に備えてお風呂の残り湯を保存していますか

次の入浴時まで保存している	15	75.0%
入浴後はすぐに流す	5	25.0%

所見：飲料水の備蓄量が不足する場合はお風呂の残り湯を利用する方法もあります

12 携帯トイレ（簡易トイレ）は何日分備えていますか

備えていない	1	5.0%
1日	1	5.0%
2～3日	4	20.0%
4～6日	0	0.0%
7～9日	6	30.0%
10日以上	8	40.0%

所見：どこの行政も支援物資が届くまでの期間として、1週間の備蓄を求めています

13 携帯トイレに自分の排泄物（大）を自宅で、保管した体験がありますか

ある	5	25.0%
ない	15	75.0%

所見：実際に試すことによって面倒さや疑問など色々な課題がでてくるのでぜひ体験してください

14 携帯トイレを持っている場合、排泄物を入れた袋はどこに置く予定ですか

トイレ	1	5.0%
風呂場（臭い対策している）	2	10.0%
ベランダ（臭い対策している）	4	20.0%
物置（臭い対策している）	4	20.0%
庭	9	45.0%
その他	0	0.0%

所見：トイレ、風呂場、ベランダなど室内に置く場合には、臭い対策に要注意

15 排せつ物（大）の臭い対策をしていますか

対策している	17	85.0%
対策していない	3	15.0%

所見：携帯トイレに付属の凝固剤は臭い対策が不完全なものもあるので要注意

16 首都直下地震に備えて、非常持ち出し袋は用意していますか

用意している	17	85.0%
用意していない	3	15.0%

所見：家に耐震性があり津波避難の可能性がない場合は在宅避難となるので、非常持ち出し袋の必要性や使い方については見直しすべきでしょう

16.1 非常持ち出し袋を何日分用意してますか（用意している方対象）

0日	2	11.8%
1日	4	23.5%
2～3日	9	52.9%
4～6日	0	0.0%
7～9日	0	0.0%
10日（お二人とも自宅用）	2	11.8%

所見：用意している日数がすぎたらどうするつもりでしょうか。自宅に戻るならば非常持ち出し袋をもって避難する必要がないこととなります

16.2 非常持ち出し袋を持ってどこに避難しますか（避難場所とその後の予定を記述）

避難場所など	7	38.9%
自家用車	2	11.1%
公園	1	5.6%
常時携帯	1	5.6%
自宅	4	22.2%

未回答	3	16.7%
-----	---	-------

所見：避難場所や公園を考えている方は旧耐震家屋の住いでしょうか？

避難所は、自宅に留まれない方が避難するところです。避難所に行っても食事や飲料水も十分にはありませんので、それを目的に避難しないように啓発してください。

救援物資は1週間程度で届くと思われませんが、在宅避難者も受け取る権利がありますので、その時は避難所に取りにいきましょう

17 大災害が発生した時、地元以外の疎開先を決めていますか

1か所	6	30.0%
2か所	7	35.0%
3か所	2	10.0%
10か所	1	5.0%
未定	4	20.0%

所見：2ヵ所以上の離れた地方にある疎開先を決めておいた方が良いです

※疎開は不要との意見もありましたが、大災害時には必要となります

18 自助で困っていること（自由記述）

自由記述 1) 家族がバラバラで被災した場合

⇒二次災害に遭わないために集合することを焦らないこと

自由記述 2) 連れ合いが杖無しでは歩行困難。地域防災拠点までの歩行避難が大丈夫か心配

⇒地域防災拠点に行かないで済む地震対策（自助）を備えること。大災害時は歩いて行くことを考えない方が良いです

自由記述 3) 今まで震度5以上の経験が無いので不安

⇒首都圏に住む人はほとんど経験がなく被害想定が難しいために防災対策も不十分になりかねない。この視点は重要。

全体を通しての所見：

公助・共助に期待する意見もありましたが、大災害時発生から数日は公助・共助はあてにならないと考え、まずは自助で何とかするという覚悟で備えるべきと思います。

たとえ行政が被災者支援の仕組みを作っても、実際に動くのは自治会役員や自主防災隊となり結局は我々が動かざるを得ないことを認識しておくことです。しかしながら、自分や家族が大変な状態であれば、他人を助ける行動ができるとは限りません。

結局は自助の備えが最重要となります。従って、平時に自助の備えを強化する助けをすることが最も有効な共助であるともいえます。

以上